

## 目標達成計画

作成日: 平成 25年 8月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	共有空間である、ホールでの過ごし方の選択肢が少ない。	ホールで椅子に座る以外の過ごし方ができる空間を作る。	昔ながらの日本家屋を想定し、足を伸ばしたり横になれる空間を提供する(畳・コタツ等)。	12ヶ月
2	4	運営推進会議を活かしきれていない。また、グループホームの実際を知ってもらえていない。	会議構成員に実際のグループホームサービスの支援状況を理解してもらい、風通しの良い環境を作る。	会議時間内に構成メンバーがグループホームを見学(入居者の状況等)し、ありのままの雰囲気を感じ、直接職員からも実地説明し、即助言が得られるよう考案する。	12ヶ月
3	51	家族同士の交流が少ない。	家族同士の交流と連携を図る目的の場(日々の行事等)を設ける。	グループホーム独自(ユニット毎)の行事(スイカ割り、花火、ドライブ等)に家族に参加をすすめる、入居者と過ごすと共に家族間の交流を深めてもらう。	12ヶ月
4	52				ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。